



南 港



男鹿市立船川第一小学校

学校報No.4 令和8年8月1日

未来をひらく くじらっこ

～ やさしく かしく たくましく ～

文責 校長 清水 琢

アルファから団塊ジュニアまで & 子どものSNS利用

本校には、6歳の子どもから60歳代の教職員まで、いろいろな世代の人たちがいます。世代で分けると、新入生はα(アルファ)世代。その上の先輩たちや大学を出た教員はZ世代。Z世代の少し前を歩いて寄り添うゆとり世代。そして、就職難を生き抜いた氷河期世代(超レアです)。さらに、本校の舵取りを担っているベテラン勢はバブル世代。それら様々な世代を見守りつつ屋台骨を支えているのは団塊ジュニア世代。我が船川第一小学校内では、このように多様な世代とその価値観がひしめき合っています。

団塊ジュニア世代や氷河期世代は、人生の各ステージで競争にさらされた世代である一方、その方々の子どもであるZ世代は、親世代とは真逆の少子化による人手不足で、進学でも就職でも引く手あまた。親としては、「自分たちと同じ目に遭わなくて良かった」と思ったり、「自分たちの給料は30年も上がっていないのに…(羨ましい)」と思ったり。実際、受験も就職も、親世代ほどの切迫感は薄れているように感じます。ですが、単に少子化という自分の努力ではない、時代の流れによって恩恵を受けることを盲目的に肯定し、羨むことは正しいのでしょうか。皆さんはどうお考えですか？

効率や合理性を重んじ、私生活との調和を意識する世代。動画や直感で情報を受け取り即座に正解を欲しがらる世代。日々、ジリジリと正解のない難題と向き合う世代。もう数年で、AIと共生するβ世代も入学してくるでしょう。本校は、まさに百花繚乱の個性があふれ、時代の流れの最前線の学校といえます。団塊ジュニアの経験値、バブルの突破力、氷河期の粘り強さ、ゆとりの合理性、Zの感性、αの未知なる可能性。本校では、互いの違いを不協和音として切り捨てるのではなく、異なる響きや輝きとして活かしていき、強みを生かした豊かな教育を目指しています。

話は少し変わりますが、今、子どもたちが夏休みに入るに当たり、とても心配していることがあります。それは子どもたちのインターネット利用時間(スクリーンタイム)の長さ、アクセス先など、その利用内容についてです。

こども家庭庁の調査(R7年度:平日の利用時間)では、小学生(10歳以上)で3時間54分、中学生が5時間24分、高校生は6時間44分でした。高校生に至っては、人生の4分の1以上インターネットを利用して過ごしているという驚きの結果でした。

とは言え、我々大人も含め、あらゆる世代が似たような状況にあると思いますので、「インターネット=良くない」として子どもたちの利用を一律に禁止することを望んでいるわけではありません。本校の子どもたちの利用時間についても、現在調査しているところです。ただ、本校の端末所持率は全国平均や県平均を上回っており、利用時間も長いのではないかと心配しています。今、年少のα世代をはじめ、あらゆる世代がインターネットを利用している中で、全くインターネットと切り離れた生活は考えにくいですし、インターネットが人生を豊かにしてくれるならそれに越したことはありません。インターネットの利用自体を心配しているのではなく、心配しているのは利用の仕方なのです。

本校保護者の皆様のご家庭では、お子さんとインターネットなどのSNS利用についてのルールを決めているでしょうか。子どもには大人のような自制心はまだ十分育っていません。海外では、子どものSNS利用を制限する法律が次々とできていますが、大人が利用している姿を見ている子どもたちは、抜け道を探して、さらに危うい状況になってしまっているというニュースも聞かれています。子どものときから、安全なSNS利用についての知識をもち、幸せな人生を送るための手段として利用していくのが理想ではないかと考えます。お子さんにインターネット端末を与えるのであれば、利用時間やフィルタリングなど、親と子どもがどちらも納得できるルールを決めて、実践してください。目放し、野放しには決してしないでください。トラブルが起きると、多くの保護者が「まさかこんなことになるなんて思わなかった」と話しますが、非難を恐れず率直に言えば、ご家庭でのお子さんのSNS利用におけるトラブルは保護者の責任です。

私も保護者の一人として、その責任の重さと状況の打開策について、正解のない、終わりのない問いであると感じています。しかしこの後も、大人でも未体験のことが現れ、そのたびに人生の先輩としてどう向き合うべきか、頭を悩ますことがあるのではないかと思います。でも、予測不能な人生だからこそ子どもたちには楽しんで生きてほしいと思いますし、そのための力をしっかりと育んでいきたいとも思います。この夏休みが、子どもたちにとって安全で有意義なものとなるよう、心から願っています。保護者の皆様のご支援、どうぞよろしくお願いいたします。



修学旅行 ～仲間と共に、全力で楽しむ6年生～



6月24日から一泊二日で6年生が修学旅行に行ってきました。訪れたのは、一日目が鐘崎笹かま館、震災遺構仙台市荒浜小学校、八木山ベニールランド。二日目は仙台市内自主研修の各コース、中尊寺金色堂です。この旅の間中、自分の役目をしっかり果たそうと頑張り、仲間を気遣いながらみんなで楽しもうとする子どもたちの姿がとても光っていました。特に、二日目の朝に起きた地震の影響で、自主研修のスケジュールが予定通りに進まない状況になっても、仲間とどうしたらよいかを考え、調整していく前向きな姿に心を打たれました。さすが本校の最上級生です。（一方で、常に世界が揺れている私は、先生方や子どもたちが部屋に教えに来てくれるまで、地震に全く気づきませんでした…。）

また、仙台市内で、自作のパンフレットや缶バッジを配布しながら男鹿をアピールしていたとき、「私たちも秋田へ旅行に行くんだけど、地震で新幹線が止まっちゃって」と話してくれた方々に、「ぜひ、男鹿市にもいらしてください」と伝えるなど、台本通りではないライブのやり取りも経験し、その楽しさを味わっていました。アピールした方々が、この後男鹿を訪れてくれたら嬉しいですね。保護者や地域の皆様、そういう方をお見かけしたら、ぜひ本校にご一報ください。本当に楽しみです。

P T A 授業参観 ～ご参観ありがとうございます～

7月10日、P T A 授業参観と学級懇談を行いました。授業参観では、普段より緊張しながらも、真剣に学ぶ姿が見られました。



この後、個人面談もありますので、ご心配なこと等がありましたら、ぜひ担任にご相談ください。

男鹿市教育委員訪問～褒められると伸びるタイプです～

7月9日、男鹿市教育長と教育委員の皆様が、各学級の授業を参観しました。

懇談では、子どもたちが落ち着いて伸び伸びと学びに向かっていること。また、タブレットでの共有に慣れていること。子どもたちと教師の信頼関係ができていて等の良い点を褒めてくださいました。Yeah!



第2回学校運営協議会

～参観三連発目！～

7月14日、学校運営協議会委員の皆様による授業参観と給食試食を行いました。

懇談では、「子どもも楽しそうに生き生きと学んでいるが、教師も楽しみながら授業をしている様子が伝わってきた」という非常に嬉しいコメントもありました。

（でも、会長に見られるのはさすがに緊張しますよね。）



盆踊り体験 ～ダダダゴ！（は、こうするの）ダ！！～

7月6日、船川地区盆踊り保存会の皆様、1～3年生に盆踊りを教えてくれました。

踊りの先生を真似ながら、生演奏の太鼓や横笛で踊る盆踊りはとても楽しく、めったに味わえない贅沢なひとときでした。



くじらっこの活躍 ～スポ少の活躍、おめでとうございます！休み中も頑張ってるね！！～



第2回大仙市長旗
サッカースポーツ少年
団大会
フラワートーナメント
第2位
男鹿ユナイテッドF C
サッカー
スポーツ少年団



第11回男鹿市潟上市
南秋田郡 小学生
バレーボール
交流大会
第3位
男鹿杉っ子
バレーボール
スポーツ少年団